

★神戸を福祉の町に<14>

急がれる専門技術者養成と待遇改善



▲身体の機能回復訓練をする理学療法士



▲軽い手作業を通して機能の回復をはかる作業療法士

(写真は兵庫県立リハビリテーションセンターで)

「リハビリテーション」という言葉が最近よく聞かれるようになってきた。『社会復帰』という意味に使われており、交通事故や労働災害、あるいは脳卒中などいろいろな病気や事故で身体が以前のように思うように動かなくなつた時、いろいろな訓練をしてもとの家庭や職場へ復帰できるようになること、といつてもいいが、もう少し広く考えて、障害をもつ人が、障害をできるだけとり除いたり、軽減したりして、残された能力のゆるす限り人間らしい幸福な生活を営むことといつてもいい。日常生活のうち自分でできる部分が今までより少しふえることだけでもそれはリハビリテーションと考えられるので、からなずもしも職場や社会へ復帰できない重度障害者や老人の場合は、リハビリテーションは適用できる。

さて、一口にリハビリテーションといつても、医学的、職業的、社会的リハビリテーションなど、各分野で総合的に行なわれることが必要なのが、リハビリテーションがよく「第三の医学」といわれているように、ここではまず身体の機能回復訓練にポイントをおいて考えてみたい。たとえば、病気や事故などで病院に入院し、治療を受けても、もとの身体の機能のある部分が失なわれてしまつて、そのままで日常生活を営むのが非常に困難になる場合がある。そういう時は失われた機能を補うために補装具をつけたり、残された機能を最大限に生かすためにいろいろな訓練をする必要がある。医者と共に専門の技術を用いてこの機能回復のための訓練をする人たちのことをセラピスト、すなわち訓練士とか療法士とかよんでいるが、この療法士にもいくつかの種類がある。

Physical therapist (理学療法士、略してPT)

Occupational therapist (作業療法士、略してOT)

Speech therapist (言語療法士、略してST) などが主なものだが他にもボケーションナル・セラピスト、レクレーションナル・セラピスト、ミュージック・セラピスト、サイコセラピスト、スポーツセラピストなど、最近新しい分野のセラピストが次々に生まれつつある。

専門家以外にはあまり耳なれない言葉だが、リハビリ

に示しているといつてよい。

現在の日本の療法士養成校のほとんどは三年制の教育システムをとつておらず、各種学校と同じ扱いなので卒業しても短大卒後一年の資格しか与えられない。

したがつて専門技術者といつても待遇面では低い地位にあり、また仕事の面でも医者の下にあって医者の指示に従つて動かなければならぬため、専門性を生かしきれない不満もある。「生徒の資質や意欲は年々低下しているし、単に頭数だけ増やせばいいというもんじゃないですよ。それがサービスを受ける患者さんにもひびいてきますからね。養成校をつくるよりも、四年生の総合大學の中に早く専門コースをつくることです。それと教える人をつくることです」（大喜多さん）

「カナダは三年制がダメだということに気づいて総合大学に移行したい例です。アメリカも当然四年生の大学の中にコースを設けています。アジアの中でもフィリップンは国立の四年制大学でやつてますし、インドだけつて療養士に学士号を与えてるんですよ。日本はアジアの中でも遅れていますよ」（山下さん）

「技術者は人の命を預かるんですからしっかりした人をつくるとともに、それなりの待遇を」（三橋さん）

日本では理学療法士や作業療法士といつてもまだその仕事がよく理解されておらず、マッサージ師の延長とか考えられていないのが現状かもしれない。おそらくこれから治療医学が進歩し、老人人口が増え、成人病や障害者が増加し、人権尊重、福祉思想が広まるにつれ、リハビリテーションの必要性はますます高まつてくるにちがいない。そうした場合、こうした専門技術者なくしてはリハビリテーションは成り立ち得ない。

建物はできてても人はそう早くにはつくれない。長い眼で本腰を入れて養成と待遇を考えていかなければ困ることになるのは目にみえている。福祉にたずさわる人の養成と働きやすい条件をつくる努力は今年からでもぜひ本気でやつてほしいものだ。

4人、ST2人が毎日多くの患者さんたちの治療・訓練を受けもつてているが、全国的にみるとまだまだこうした専門療法士たちの数は驚くほどに少ない。

リハビリテーションが重要視されるようになり、「理学療法士及び作業療法士の身分資格に関する法律」ができたのは今から10年前の昭和40年のこと。そしてこうした専門の技術者を養成するリハビリテーション学院が初めてできたのが昭和38年で、現在PTの養成校が全国に11カ所、OTが5カ所、STにいたつては東京に一ヵ所あるのみだ。しかもこうした養成校は一校で定員20名という少數なので、卒業後国家試験を受けて合格し、専門技術者として社会で活躍する人は毎年二百人にも満たない。

経験者で特例試験を受けて合格した人の数を合わせても、昭和41年から48年までの専門技術者の数は日本全国でPTが一五一四人、OTが四三〇人。STにいたつては昭和46年4月に東京都新宿区に定員20人で開校したばかりなので卒業生はまだ60人。

こうした専門技術者の需要は年々高まる一方だが、資格をもつた専門家の養成は遅々としてなかなか進まない。三年前、兵庫県にも養成校を設置しようという動きがあり、建物はできていたが結局計画倒れになつたことがあつた。その原因は、療法士を教育する教師がいなかつたことと、教育システムが全然できていなかつたことによる。ただ単にインスタントに数を増やせばいいという考え方が先行した結果、実がともなわづぶれたようであるが、これは現在の日本の療養士養成の多くの問題を端的に示しているといつてよい。

足立卷一 〈姉妹誌オール関西「夕暮れに苺を植えて」の執筆者〉

やちまた

上・下巻同時発売中／各巻450ページ・写真16ページ 各巻1600円

没後八年日亡父本居宣長に捧げた不朽の名著「詞の八衝」—本居学の総師として国語学と和歌に生きた春庭の生涯—構想40年・特異な語学者を人生の機微に触れる詩人の鋭い人間観察眼で彫りあげた、新しいジャンルを拓く評伝文学の労作。同人誌「天秤」連載のものを全編改稿し、新出の資料により増補。

東京都千代田区
神田小川町8ノ6

河出書房新社

電話(03)292/3711(代)
振替 東京10802

●本誌連載の小説「曲線ハイウエイ」が好評発刊！

LOVE SEX 東京文芸社 ￥730

愛と性

武田繁太郎著

「愛と性」は話題の「寝室」で夫婦の性生活における女の魔性を描いた著者の最新長篇。現代の若者の行動に仮託して、愛のふかさが味う性の欣び、愛と性の自然なありかたを、曲線ハイウエイで結ぶ問題作。

□好評既刊／武田繁太郎著「寝室」￥790 「芦屋夫人」￥550

をめぐる 神戸、子達

佐川 俊吉さん

〈創建設計社長〉

歌手の佐川満男さんのお兄さん。『歌は得意じゃないですが……』画家の中西勝郎を設計した人。『この頃景気はどうですか』『悪いですねア』『うさ晴しに飲んで歌いますか』



馬島

秀平さん 〈大丸神戸店次長〉

私の展覧会のために、骨折ってくれている人。「肥つてはるから、少々のことはやせはらへんでしょつ」勝手なことを言っている。



長島

隆さん 〈神戸市市民局長〉

神戸まつりにはいつもパレードに一緒に登場する市民局長さん。なにせ体力抜群である。登山のベテラン、高取山じゃないですか、エベレ

ストですよ。大きい人だ。



生駒紀美子さん

〈生駒時計店夫人〉

山田五十鈴さんと似てしまった。悪いことではありますね美人ということです。この人が見たらきっと「これ

はよう描き過ぎや」というかもしれない。





鴨居 玲さん 〈洋画家・二紀会〉

まだ偉くならない頃から、私をほめてくれていた人。こういう人にはめられたら“免状”をもらったような気になる。デッサンという店でデッサンした。『なんか恥しいなア』とテレる。いや、こっちの方が恥しい。



高 英洋さん 〈鹿茸本舗蝶社長〉

張り切った皮ふ、つやのある丸い顔。「高さん鹿じょう酒の瓶に似てきましたよ」「ワッハッハッ」鹿茸酒で乾杯、安心して乾杯、乾杯。二日酔いしないから。ホントよ。



國中富樹子さん
〈デザイナー・神楽デザインセンター〉
飲み仲間。通称「お國さん」。本名は今まで知らないかった。「よう言うわ」とボコボコと肩をたたく。庶民的でカラカラしている。



田中 薫子さん 〈ファッションデザイナー〉

神戸っ子じゃない神戸っ子。神戸が大好きだという人。いつも大阪から足をのばしてやってくる。それで合ってるんです。さすがです。神戸はいい街です。

をめぐる 神戸、子達

加藤きよ子さん

〈モダンバレーナ〉踊りのために生まれて来たような娘。街を歩いていると、突然ピョンと飛び出してくる娘。いつも踊っているような可愛いいきよちゃん。



小山乃里子さん

〈フリーアナウンサー〉

いたずらっぽさがこの人の魅力。「乃里子さんは美人やなア」なんて言つたら、トンボめがねで下心を見られてしまいそう。



小笠原誠二さん

〈画家三紀会〉

画家の顔を平気で描いている自分に気が付くと、途中からタッチがあやしくなって、あとで見せ難くなる。「なるほどネー」と見てくれた。気を使ってくれた。



君本

昌久さん

〈詩人・市民同友会事務局長〉

この姿勢を崩さずジッとしていてくれた。きっと「神戸空襲を記録する会」の出版のことでも考えていたのだろう。彼の目は遠くを見ているようだ。





内藤 国雄さん 〈将棋九段〉

「もうさん似とれへんやないか」とバシッと
くる。残念ながら将棋で言えば、読みを見ら
れたいのかなア。「絵も最初の線が“筋”に
入ってないとガタガタになるやろ」さすが九
段、相手が悪い。



連載
もうさん



服部 正さん

〈大阪社会事業短大教授〉

「娘が先生の社大にお世話になっていたんで
すよ」「ア……そうですか」神戸というと
ころはどこからかつながらが出てくる。楽しい
街だ。「いつもどこかでお会いしてますなあ」



中西
省伍さん

〈デザイナー・サロン・ド・ナカニシ〉
服飾はいいですか、いつも美人のボディがあるから。
少し手伝わせてほしいなア。

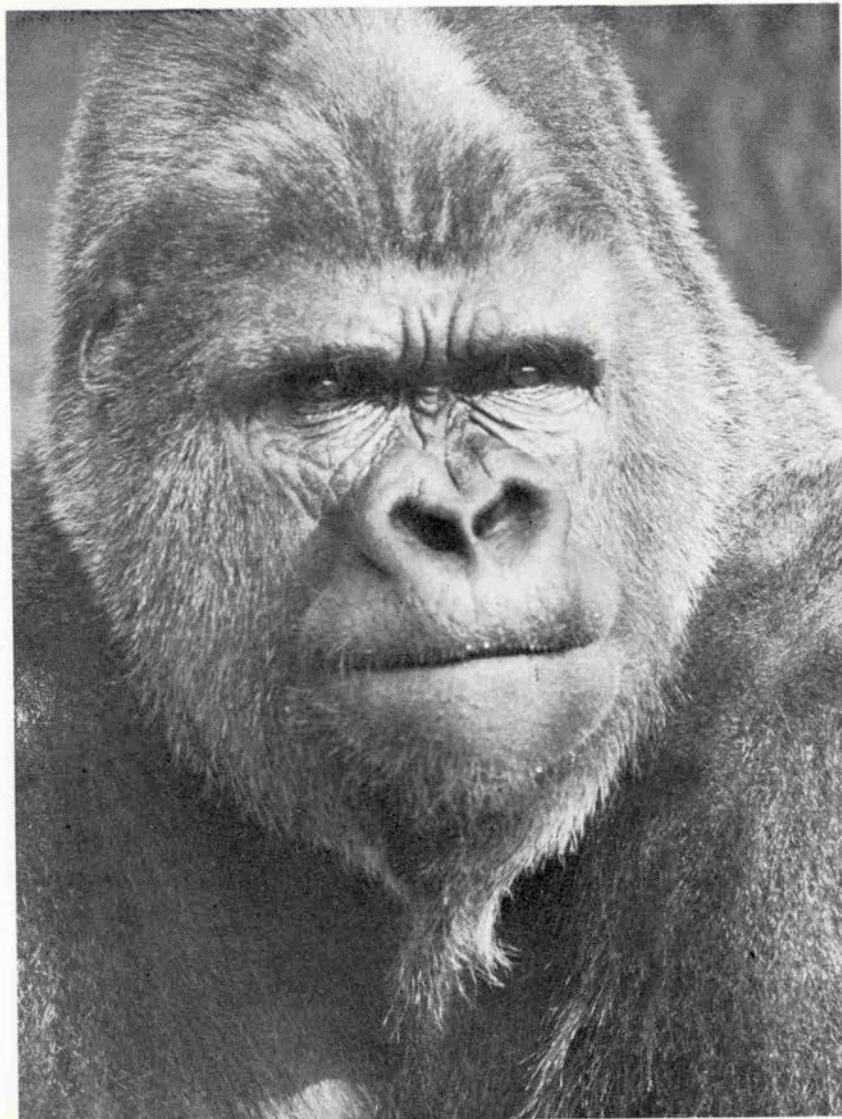
高月

昭子さん

〈建築家・設計工房DONA〉

「へッ建築技師には見えないねえ」この頃の若い人の職
業はわからない。まだ上級試験の勉強中だという。「そ
れより建築家と結婚したら……」「してますか」「ア……
そう」「離婚」ということもあるのでしょうか」「イースト」





動物園飼育日記——105——亀井一成

ないしょ話シリーズ 26 ◇
"おれへん" ゴリラ



快晴の朝、その日もゴリラ舎の運動場に好物のバナナ、リング、ミカン、大根菜を置いてやり、扉を開けてやると巨体のザーカは元気よく走り出た。

その暫くあと入園者のざわめきが耳に入りはじめたときの声である。

「ゴリラ何処へ行つたんやろ、おれへん！」

「今日はゴリラ君お休みらしいね」

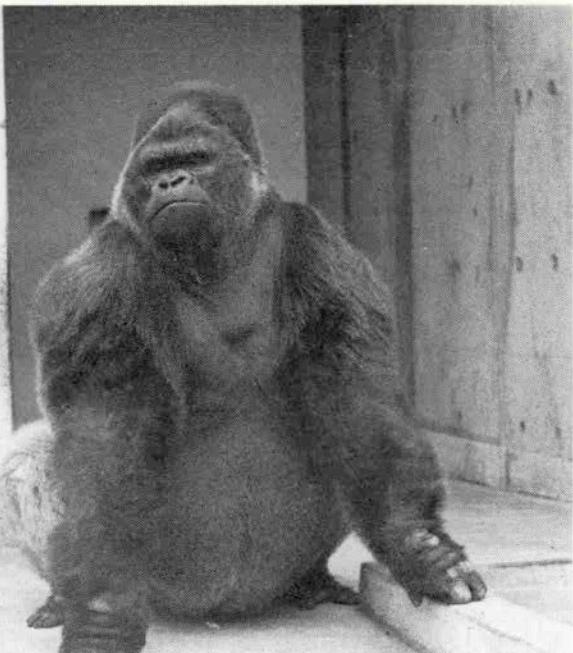
「すみませんがゴリラは何処にいるんですか」

本当なら大事件である。

まさか、ゴリラが、幼児の二の腕もありそうな太い鉄

格子をへし折つて逃げ出すはずがない。それでも気なる担当者は運動場をひよいとのぞきみたが、別に異常はみうけられない。何時もながら扉を背にしたオスのゴリラザーカは座りこんでいた。だが、やはり「ゴリラおれへん！」、不満の声がずっと続いた。

いやこれはゴリラばかりではない。クロヒヨウ、ニホングマ、ヒョウ、シマウマ、列記すれば数多い。とにかくお客様はできるだけ、アップでしかも次から次へ、動物のはでな動きをのぞいて見たい。それでいて、足も止めずに『見流し見学』がそのほとんど。ちゃんと顔見せしているはずの動物たちをも、つい見逃してしまふ方が多いのである。



日本一大きく、ハンサムな顔つきといわれるザーカ君、体重200kg。黒い扉をパックに。

とはいもののお客様ばかりが『うかづ』ではない。いくら馴れた動物だろうと、まる裸、無防備に姿をさらけだすようなことはしないのだ。そつと体をやすめるそのひとときにも、差しむ陽ざしの明暗を計算している。つまりお客様の眼から逃がれる位置を、まことにうまく心得、シマウマ、キリンは木かげを背にたたずみ、クマやクロヒヨウはうす暗い寝室への通路穴を背に、そしてゴリラのザーカは僅かな黒塗りの出入扉にピタリ身をすり寄せひそんでいたのである。動けば白壁にくつきり、ごついらだが浮きでると考えていたのだろう。

ところが、その数週後のある日、なんだかザーカに落着きがない。これまでどちらがつて運動場の両隅つまり、お客様から少しでも離れた場所へ行つたりきたり、四つ足の体をひよいと立てひざ、座つたと思つてもまた動く全く腰がきまらないのである。何故だろうか。見に行つた私にもオロオロ、何時ものようにならが背を向けたとたん、扉前からばら一つと体当たり、このゴリラ独特の背面攻撃も



カラカワレルノハ、イヤダ。見物客のイタズラにす早く天井へ。

広い範囲が見えるので後からの敵をいちばんよく知る利点をもっている。しかしながら、われわれが片眼で物を見るようなもので立体視できない場合が多い。それがため、サイやゾウは、近視だとさえいわれている。とすれば、ゴリラがびたり黒い扉を背に、じつとわれわれを前方視していたことも敵には背を見せないという防御行為だったのかも知れない。いやそれがまた、ゴリラはわれわれ人間同様、色の識別ができるることを明らかに意味していたのだ。

膜はフィルムに当たる。その網膜の最外層には色を識別する円錐細胞と、色よりも明暗を感じる桿体細胞との視神経細胞があつて、動物のほとんどがこの両細胞をもつてゐる。が、日中は円錐細胞が、夜は桿体が働くので夜行性動物には桿体が多く、昼行性動物には円錐細胞が多い傾向がある。ちなみに桿体の多い動物、つまり夜行性とよばれるものはネズミ、モルモット、イス、ネコ、フクロウ、コウモリ、モグラなどがあげられるが、そのほとんどが赤を見分けることができない。灰色か黒にしか見えないといわれている。

さて、話がここまでくると、動物の眼の形体を少々知つていただかなくてはならなくなつた。

まず肉食獣やわれわれ人間も含む靈長類のように、左眼が正面で横に並んでいるものと、キリン、サイ、右の眼が正面で横に並んでいるものと、ばかりか、デカイ体をもつてあまつていた。

ゾウなど草食動物のようく鼻すじを狹んで顔の両側に眼がついているものとに分けて考えたい。つまり前者は前方一八〇度の範囲は見えて、そのままでは後方は見ることはできない。しかし、前は左右両眼で見るため立体視ができる、正確な距離を知ることができる。

一方、後者は眼が体の両側にあるため前も後もという

〈王子動物園学芸員／写真も〉



「関寺小町」の花柳芳一さん



「竜虎」の花柳芳恵一子・芳次郎さん

「芳一の会」の東上に想う

佐野 漣箕

（神戸新聞姫路支社長）

花柳芳一師が会主となつて東京国立小劇場で初めての舞踊会をもつた。49年12月12日の「芳一の会」がそれである。あの円満温知の花柳芳一師を東京へひっぱりだしたには五世芳次郎師の熱意が大きい。芳一師を紹介したかった」といっておられたが、事実その通り芳一師の魅力は素踊美にあるといつてよい。「活達しや脱、線細量感、鋭敏円満が配分よく存在した芸風」と作者駒井義之氏は評している。「助六」「関寺小町」「文屋」の三古典素踊りで魅了したのは当然ながら誠に当をえた選

ます芳一師の「助六」で幕があく。花の大江戸のイキと風情、きつぱりとした胸のすくいい気分見事な力量。休憩と一緒に「花競四季寿」。まず樂堂師の「万歳」かしこまつた舞台の出のめでたいふんいきがとくにいい。続いて芳恵一子師の「海女」銀波に千鳥の赤がはえた衣装ですがすがしい。そして芳一師の「関寺小町」淡く香氣ある風趣、力感、関寺へ帰る幕切れのあのわびしさの極み、これを舞踊のだいご味というのだろう。続いて家元寿輔師の「鶯娘」。花道の通り芳一師の魅力は素踊美があるといつてよい。花柳芳恵一子・芳次郎さん

者という芳恵一子師の確固たる実力の証明といえた。最後は芳一師の「文屋」。芳五三郎、与両師を官女につかつての軽妙さ、情相をのんびり、ふつくらまるやかにうきうきと品よく「因果はめぐる」あたりの金扇のひらめきの見事さ、洗練された古典とはこんなにも新鮮なものなのか、全体的にすみずみまで神経がゆきとどき舞踊の喜びと感銘を与えたそして私は芳一師の舞台に本物の舞踊家の純真さと執念をみた。三時間のこの充実した興奮、劇場を出てお堀の黒々とした松に向つて「よかつた、よかつた」これが本物の踊りなんだ」とつぶやいたが、そうして三毛坂を歩いたのは私一人ではなかつただろう。芳一師は明治40年の生まれだから68才になる。かぜ一つ知らない健康体である。ますますの健斗を祈るのもまた私一人ではないだろう。

□舞台隨筆

プロフェッサーPの研究室 (3) 匂いの研究 岡田 淳



——教授、我々はこの研究に、少し深入りしそうたのではありますか。

——プロフェッサーPの研究室 (4) 毛生え薬の研究 岡田 淳——



—— 残る問題は、いかに頭に生やすか、ですね。



テレビで「ぐろ寝」

竹田 洋太郎

（在ニューヨーク）

え・たかはし もう



筆者

数年前の日本の統計によれば、日本人がレジャーを過ごす方法として最も多いのは、テレビを見ながら、ごろ寝をする、というのが一番だとありました。これについて識者は「日本の貧しさ」を指摘し、レジャーを過ごす方法が乏しいのをなげいていました。

それなら米国はどうか。たしかに日本よりも変化がありそうです。夏なら海岸、プール、湖へドライブするのもいいし、冬なら、ニューヨークの都心から車で一時間余りでスキー場もあります。近ごろは日本同様、映画の再興もめざましく「大地震」や「エヤボート一九七五」「タワリング・インファーノ」と「大災厄映画」は観衆を集めています。

しかし、米国人と話していると、やっぱり彼らのレジャーの最高は、テレビでごろ寝ではないかと思います。たしかに、よくテレビを見ているのですね。ごろ寝とはいっても畳が敷いてあるわけではないから、リクリニング・チェア（これは主人の座）かソファにもたれて手許にビールのカンを置き、左手にパイプをもつてテレビを見るわけですが、それならなにを見るか。これを問題にしましょう。

日曜日や、ことに新年の休みなど、テレビで最高の視

聴率を誇るのは、いうまでもなくアメリカン・フットボール。これが春から夏のシーズンは野球に向かいますが、数ではフットボールが最高です。お正月のローズ・ボウル、オレンジ・ボウルは、にぎやかなパレードとともに年中行事となっています。

普通の夜のゴールデンアワーは、日本と同様、連続テレビドラマ。最近の人気は「チコ・アンド・ザ・マン」ロサンゼルスのスペイン語系米人の青年と、彼の働くガレージのオヤジの物語ですが、こうした人種の差がいまやコメディのテーマになっていることは、五年前なら考えられないことでした。

ここもたちは「エーアージェンシー」を見て、消防署の救急担当員にあこがれ、ちょっと大きくなると「六百万ドルの男」（空想科学スパイ探偵ものと欲ばつたもの）に血をわかします。

ついでながら、日本でもやつてている「セサミ・ストリート」のほかに、このような教育番組が土、日曜の朝など、たくさんあります。これらの目的は、日本ではどう受け取られているか知らないが、主として、英語を話していない家庭の学齢前、または低学年の子供たちに英語のイメージを与えるためのものです。なかには「ビリヤ

・アレグレ」という、スペイン語と英語を並行して子供の教育をやる番組もあります。前にも一度いったように米国に住む人の中には英語をしゃべるのに苦労している人が多いです。われわれの家庭も含めて。私のよく見るのは、週日夜十一時半からの「ジョニー・カーソン・ショウ」つまり深夜番組ですが、ちょっとした見せ物をがあるが、大ていは有名タレントを引っぱりだして、ジョニーの司会でシャベルわけですが、こういったトーカー・ショウは日本はない。というのは、日本で、都はるみのようなタレントを呼んできて、内閣の新聞僚の品定めを「十 分もしやべらせることなど」考えられないでしようが、米国のボビュラー

・タレントは政治であろうが、経済であろうが、なんでも実によくしゃべる。しかもその間にジョークがなければタレントとはいえないのです。悪漢役をやらせれば最高のジャック・パランスなど、これによく出て、国際問題を語つたり、その間にハリウッドのゴシップを語つたりするわけです。

探偵ものでは、「コロンボ」も面白いが、スリルのあるのはニューヨークを舞台にした「コージャック」、主演テリー・サバラスで、七四年は一番人気だったといつていいでしよう。ともかく私たちの歩いているニューヨークの街での犯罪ですから、迫真力がある。

夕方の早い時間や昼間は、これは日本で見た続きもの再映、再々映。ちがうのは日本語でなく英語でしゃべるだけ。

夕方のニュースは一時間から二時間、深夜は三十分と日本よりずっと長い。この点日本の民間テレビは「報道機関」といえるかどうか。

日本でやれば当たると思うのはCBSの「キヤロル・バーネット・ショウ」(このイニシアルもCBSとなる)。

永六さんが沖縄の米軍放送で見て絶賛していましたが、問題は、このコメディが、他局の有名番組や有名商品のコマーシャルをパロディーで徹底的にひやかすことです。

このユーモアは日本人のユーモアとは質がちがうし、ちょっと受け付けられないかも知れません。

昨年からニューヨークでも日本人向けテレビ番組が週一度、土曜の午後放映されています。スペイン語番組主体のUHF 47チャンネルにのつけたものですが、はじめは「あゝ忠臣蔵」ついで「必殺仕掛け人」、そして今は「木枯し紋次郎」なんだか妙な感じです。



ソファにも寝 パイプならぬ爪楊枝



生きている ディートリッヒ

淀川長治

（映画評論家）



は来日披露宴の席上のことである。

帝国ホテルに泊っていて誰ひとり部屋に入れない。用件はすべてドアの下から手紙で。食事はすべて部屋の中。これは実話である。楽屋からステイジへはエレベーターで。そして舞台のそでから舞台に一段でも階段があると彼女は嫌やがつて、そのそでから舞台へ大きな板を渡しその上にカーペットを敷くことを命令した。

これはすべて話に尾ひれのついた伝説のことなのだが……私にはこの目ではつきりとわかつたのであった。大阪と東京の入りがひどく悪くて彼女をさびしからせたらしいが札幌では満席となり舞台から多くの人に握手をしその多くの人の方へ舞台から下りて行ってその人たちにかこまれて「キャメラ、キャメラ」と呼んだという。

東京でも気軽に舞台から握手した。握手しただけでなく、熱狂的なファンが自分の住所をディートリッヒの手に押しつけてサイン、サインと叫んだところ、それから二日目にちゃんと彼女の写真にサインをしたのが送られてきた。そうピッククリして私に打ち明けた若いファンがいた。ディートリッヒはびっくりするほどやさしかつたのである。

二十五日の最終の夜のショーは涙があふれるほどディートリッヒはすべての十八番の歌を聞かせてくれた。私は一番前の中央のテーブルだったので私の目の前でディートリッヒは歌っていたのだが、手には七十三歳のしわ

「私は貴方の大ファンでした。ところで貴方は何本の映画に出ましたか」

この質問に彼女は答えなかつたそ�だ。そしてその人が握手を求めたとき手を出さなかつたのだそ�だ。これ

「私は貴方の大ファンでした。ところで貴方は何本の映画に出ましたか」

が見え、首すじにも重なるしわが見えたのに、歌い出すやそれらの老いは見事消え去った。

両手の使い方、顔の向きをサッと変えるその美しさ。

一時間たてつづけに歌つて次第にその声が一層つやを深めた。最後は「フォール・イン・ラヴァゲン」でしめくくつたが、「ローラ」をはじめ「ジョニー」そして「リリー・マルーン」「花はどこへ行った」それに懐しい「ブルー・ハブン」一時間休むひまなく歌い、こちらは涙があふれメガネが曇つて老女ディートリッヒが「ブロンド・ヴィナス」のころのディートリッヒにメガネの向うにキラキラと輝いて見えるのであった。

これほど手のからない人はいない。これが世話係の人の打ちあけなしであった。彼女はホテルの部屋の中で自分で自分の身につけるものにアイロンをかけるのだそうだ。一度その留守中の部屋の中の冷蔵庫を開いて見るとゆで卵が二個とクロワッサンのパンの半分がそれぞれセロファンに小さく包んで入れてあったという。また机の上には、そとひとりでもらった花の一つを押し花にしていたそうだ。とにかく手紙ばかり書いている人でよとも打ち明けた。

最後のショーがすんなり半時間のあと、彼女は衣服を着替えて私たちだけの仲間の前に姿を見せた。きれいな赤い上着に真黒の男のズボン。その足がやっぱり見事なものだった。私が紹介されたとき、彼女は私を両手で抱きしめ写真をとろうとキヤメラを目でさがし回った。そのうちに立ちかわり入れかわりいろんな人がやつて来て彼女をとりまいて、彼女はきよときよと愛嬌を振りまいた。中央の奥に大きな三人掛けのソファーを用意したのに、彼女はいろんな人にとりまかれ、ついに一度も腰をかけなかつた。

目の前、じかに私はディートリッヒを見た。そばには人もよせつけぬという伝説の大スターのディートリッヒは私の目前でコッパミジンに散つたかに思えた。そこにいるディートリッヒはまるで可愛いオバサマだった。私と目が逢つたびに嬉しげにまたも握手した。キヤメラと呼んで私を抱えてキャメラの前に立つた。舞台では手の動き、その線ひとつにも気をくばっていた。ニューヨークで足を痛めたため舞台からひきさがるとき老女のいたいたしさを見せた。それが歌い出すやシャッキリと若さがよみがえるのであった。それが歌い出すやシャッキリと若さがよみがえるのであった。やわらかい電光の下で彼女の首を三重にやわらかくしめたダイヤモンドの首飾りと銀いぶしのイブニングでディートリッヒが蝶に見えた。銀の蝶に見えた。私はその姿を涙でかすんだ目で見たせいかさらにキラキラ光る蝶に見えた。それがベストをつくし力がぎりでその後のショーに打ちこんでいるその精神のその姿がさらに彼女を美しくした



舞台を下りた彼女は、まるで可愛い女性だった。

舞台を下りた彼女は、まるで可愛い女性だった。

女体自慰

〔31〕

H・ジユニア

え・浅野俊一

プロ フエツシヨ 錬ル 2

ネ

パリは芸術の都。
娼婦も、セックスの芸術家。いや、芸術作品そのもの。みずからを実験台に、芸を練り、術を練ることに余念のないプロフェッショナル！

はてさて、お立合い。テッドラビドス製のジーンズを脱ぐと、女は生まれたままの姿！。ブラウンの恥毛も、今流行のハート型。（ここまで先月号）

今月は、そんな彼女が、醉眼朦朧、満腹のH・ジユニア氏をサカナに、如何なるプロフェッショナルぶりを發揮するか、後は読んでのお楽しみ。

彼女は「お先に！」とばかり、鞍馬天狗も顔負けに、全裸で宙を飛んでダブルベッドにもぐり込み、「さあ、いらっしゃい。後は、あなたのなすがままよ」と言わんばかりにもう目さえ閉じてH・ジユニア氏を待っている。

（オッパイは、仰向けに寝ているのに、何と、オワンを伏せたように、ボコッと付着していることか。普通は

体から隆起しているとか、もり上がっているのが、彼女のは、別の部品が取付けられているといった感じだ。底辺の円周が歴然としているではないか？）

H・ジユニア氏も遅れてならじと、ベッドへ飛び込み

左手を彼女の首に巻きつけ、右手でまず待望のオッパイを「ガバッ」とわしづかみにし、右足をサッと、彼女の両ももの中へ割り込ませ、ひざで局部を圧した。そして右手で、骨細の肩を抱いて引き寄せた。

こんな素晴らしい肩を抱いたことがない。空気が乾燥しているせいか、サラッとして最高の感触だ。腕といいオッパイといい、表皮は縮っているのだが、握り締めるとカラダの芯までサクッと指先が達するほど喰い込む柔かさだ。幅狭に小さく可愛い頭に羽根のような金髪。くびれた短く細いウエスト。ボールのような可愛いお尻！ 右手が一本しかないので残念だ。頭、肩、お尻、オッパイと、順番にさわらなければならない。一度にさわれたらどんなに素晴らしいだろう。）

H・ジユニア氏は、指先の攻撃目標を、彼女の局部に段々にしほつていった。そして、遂にたまりかねて、首に回していく左手を彼女の背中の下へ回し、右手の指先で彼女の局部にさぐりを入れながら、自分の顔を彼女の左右の乳房に埋める恰好で、小さな種なしブドウのように可愛い乳首を左右交互に思い切り吸い始めた。そして、時には、彼女の花弁のような唇への接吻をもさはさんだのである。

彼女はやにわに身を起したかと思うと、牛若丸のごとき早業に身を翻して、頭と足の位置を逆にし、H・ジユニア氏のジユニアを口にくわえたのである。

（パリの娼婦は、チン検の意味もあって尺八するとは聞いていたが、こうも意表を突かれようとは！）

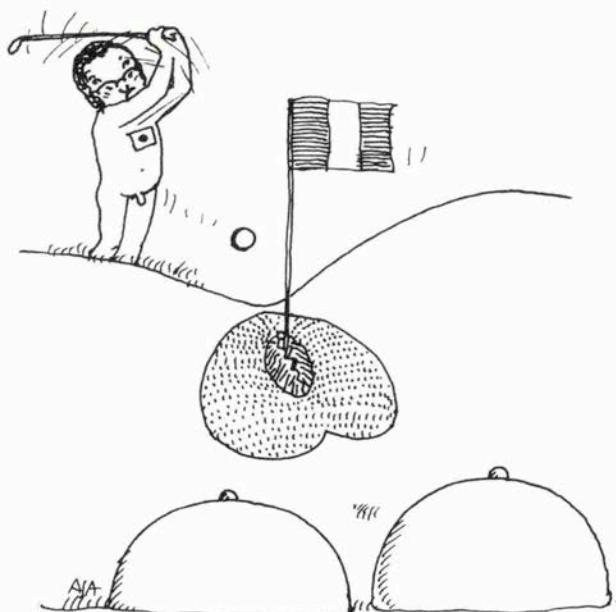
ただもう、H・ジユニア氏は「オーオー」と悶え、身をくねらせるばかりの喜びようである。尺八の技術は、唇の薄いパリのプロフェッショナルに止めをさすとH・ジユニア氏は、この期におよんではじめて悟ったのである。パリジャンヌに、たるんだ、はれぼつた唇はほとんどいない。アルヌール・バルドーはむしろ異端である。ミッショエル・モルガンの唇が正統なのだ。その薄く縮った唇は、尺八に適した天与の民族的素質を遺憾なくあ

に寝かせて、その股間に頭を突っ込み、
「パリジヤンヌの貝の具合や如何に？」と彼女の貝に初対面した。

モリモリ、モコモコ、チマチマ、マンコ。彼女の大陰唇は、パリの石畳のごとく黒灰色にコリコリ盛り上がり、ホールと核弾頭をパツチリ堅固に閉んで、ホールインワンを防衛している。ハート型に刈り込まれた周囲の芝生は、美しいスロープを見せていて。ちり一つない。雑草一本生えていない。良く手入れされた最高のグリーンだ。

すでに、彼女は素早くH・ジユニア氏のボールを尺八している。どっちへ転んでも尺八だ。彼も見とれるばかりが能ではないと、核弾頭めがけてそつと唇をそえ味見をする。

（無味無臭。清潔そのものだ。これぞプロフェッショナルの身だしなみ、エチケットというものだ。）



らわし、その技術を裏付けしているといえよう。それにフランス語を美しくしゃべることも、尺八に適した唇を鍛りきたえるのではなかろうか？ 尺八はただ漠然としやぶつたり、吸つたり、舌でなめ回してもだめである。

ボールの根方をかみそりのような唇でくわえ、ピチッと締めつけ固定しておいてこそ、効果満点なのだ。

ジユニアが勃起するのを見計い、彼女はさつと彼に打ちまたがり、女性自身に素早くつばをつけ、パクリパクリと二段がまえに彼のボールをくわえ込んだ。

「アツ、アツ、アツ！」と、悶えるH・ジユニア氏尻目に、彼女は彼の腰に手をあてがい、機関銃のごとく、俊烈にピストン運動を「タ、タ、タ、タ」とおつ始めた。

「いささか、サービス过剩氣味だ。これで昇天させられても余りにも呆氣ない。もう少し楽しめていただこう」とばかり、彼はガバッと起き上がり、彼女をまとも

相当激しく彼女のホール周辺にくちづけの雨をふらせてから正當位にもどり再び女らしい肩を抱いた。彼女は自分の局部につばを手早くつけ親切に誘導するのだった。パクリパクリ。ボールは確実にホールにキャッチされた。

彼女は、目をつぶり悶え、小さな頭に金髪が羽根のように揺れる。「アア、アア、アア、アア！」と、またもや彼女はあえぎながら、ピストン運動を精一杯おつ始めた。凄いリズムとスピードである。

（何というけなげなサービス精神。何という見上げたプロ意識。金の玉に手を添えて洗ったというだけで三千円アップを要求するトルコ娘とは段違いだ。）

遂に、彼女は、コンディション最悪のH・ジユニア氏に、外野観覧席のど真中に、ストレイトにライナーで、深々ととどくホームランを打たせてくれたのである。チップやフェールを打たせて自らの体力の消耗を防ぐ娼婦が多いというのに……。

ぴっと・いん



★心の通い合う店 サボテンのある店

中山手の神戸女子短大の

斜め向かいにティー＆スナック『サボテン』がある。店の若いマスターが大のサボテン好きで、カウンターの上にも大きなサボテンがおいてある。



落ち着いた店内



ただ今、準備中です

10平日 A M M 9:30～11:30 日曜 A M 11:30～P M 2:30 はランチサービス ピラフまたはカレーランチまたはスパゲティと珈琲三五〇円

珈琲付ハーブグランチ四〇〇円
電話〇七八（三四一）七〇六〇

六甲店は（八四一）〇一九四
電話〇七八（三四一）一三一六

六甲店は（八四一）〇一九四
電話〇七八（三四一）一三一六

六甲店は（八四一）〇一九四
電話〇七八（三四一）一三一六

六甲店は（八四一）〇一九四
電話〇七八（三四一）一三一六

六甲店は（八四一）〇一九四
電話〇七八（三四一）一三一六

六甲店は（八四一）〇一九四
電話〇七八（三四一）一三一六

『サボテン』には老若男女、外人も混じえて様々な人が来る。それも、お客様一人ひとりを大切にする店だからだろう。話を聞いてみると、来られる人との心の通り合う場——それが



“かてな”的店内

この店の自慢は特製カレー

焼き鳥の店『鳥やす』がこのほど元町店を開いた。場所は国鉄元町駅西口前浜側

元町プラザ地下一階。

六甲で七年の伝統をもつ

焼き鳥の店『鳥やす』がこ

のほど元町店を開いた。場

所は国鉄元町駅西口前浜側

元町プラザ地下一階。

三階 三三二一三三二八 生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

この店の自慢は特製カレー焼き。焼き鳥を特別フレンドのカレー粉で味つけする。塩、胡椒、七味唐芥子などはどこの中でも使っているがカレー粉はこの店だけ。それがよく分かる。とりわけお酒を飲みながる人には好評で、

は『小万』の真知子、小夜がご両人の店で、店の名はほんのりと匂うようななりり

シズムにあこがれてつけた

店の雰囲気はいいので

二人づれや女性のグル

ープが多い。特に土曜日と

木曜日になると女性ばかりだ

そうだ。ビル三百円、

水割（OLD）四百円、

ボトル六千円 P M 5 10

M 12 日曜日休み

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八



“男爵”的店内

ユニーのなかでも特に人気

めしたいのは神戸肉の短

剣焼（千六百円）。短剣

に最上の神戸肉をグサリ

とつき刺し目の前で火に

あぶりながら楽しむ。エ

ビもある（千五百円）。

店の雰囲気はいいので

二人づれや女性のグル

ープが多い。特に土曜日と

木曜日になると女性ばかりだ

そうだ。ビル三百円、

水割（OLD）四百円、

ボトル六千円 P M 5 10

M 12 日曜日休み

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八

生田区中山手通一丁目九一吉林ビル

三三二一三三二八

SALON KOBE JIDAI



ファッション時代のミニ・サロン

“神戸時代”。ちょっと変った名前ですが新しい神戸時代を目指した神戸っ子のサロンです。

神戸で最もファッショナブルな北野町、山本通界わいのファッショナブルなサロン——“神戸時代”。

神戸っ子の憩いの広場であったり、談論風発のサロンにもなり、ミニパーティーがひらかれたり、ミニ発表会が行なわれたり素晴らしい情報交換の場になります。

お誘い合わせのうえお越しください。

5:00P.M.~1:00A.M. 日曜日休み

SALON 神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28

モンシャトーコトブキビル 1F

TEL 242-3567



世界の福祉施設

— 欧米の心身障害者を訪ねて —

橋本 明著 〈カラー8ページ、本文320ページ、定価 1000円〉
送料 200円



● 福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！

主な内容

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニックス
- グッドウイル・インダストリーズ
- フォースターグランドペアレント
- 里親発見活動
- ファーストアベニュー・
- ボランティア・ビューロー
- サービスセンター
- 病院におけるボランティア活動
- レニア・スクール
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- ボーイズ・タウン
- パーキンス盲学校
- スポック博士の子供博物館
- アビリティーズ
- ロンドンのバーナードホーム
- 奇蹟の町・ルルドを訪ねて
- コペンハーゲンの老人の町
- ベーテル——西ドイツの障害者の町（ドイツ）
- ヘット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー（オランダ）

各書店で好評発売中！

振替口座 神戸四五一九六

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市生田区東町113の1 大神ビル7F TEL(331)2246